

GPB-5520

カラー画像入力インタフェースモジュール用 Linux ドライバ



概要

本製品は、Linux アプリケーションから、弊社カラー画像入力製品を制御する為のソフトウェアです。

特長

- NTSC 規格のコンポジット信号をキャプチャすることができます。
- RGB32 ビット,RGB24 ビット,RGB15 ビット,モノクロ 8 ビットのデータフォーマット形式で画像を取り込むことができます。
- バスマスタ DMA 転送により、入力画像をコンピュータのメモリヘダイレクトに取り込むことができます。
- キャプチャした画像データに対して、2 値化処理が行えます。(55x2,55x3,55x4,55x5,55x6,530215 のみ)
- 2 値化した画像データに対して、指定対象物の面積、重心値を求めることが可能です。
(55x2,55x3,55x4,55x5,55x6,530215 のみ)
- 対象物体に対して、指定した面積値での比較によるトリガ発生が可能です(55x2,55x3,55x4,55x5,55x6,530215 のみ)
- 対象物体の重心に対して、指定範囲内でのトリガ発生が可能です。(55x2,55x3,55x4,55x5,55x6,530215 のみ)
- ソフトによるチャンネル切り換えが可能です。(55x3,530215 のみ)

対応 OS

Interface Linux System 8 64bit
Interface Linux System 7 64bit
Interface Linux System 7 32bit
Interface Linux System 6 64bit
Interface Linux System 6 32bit
Interface Linux System 32bit

対応言語

gcc
Python 3.5.3, 3.8.5

注意事項

—